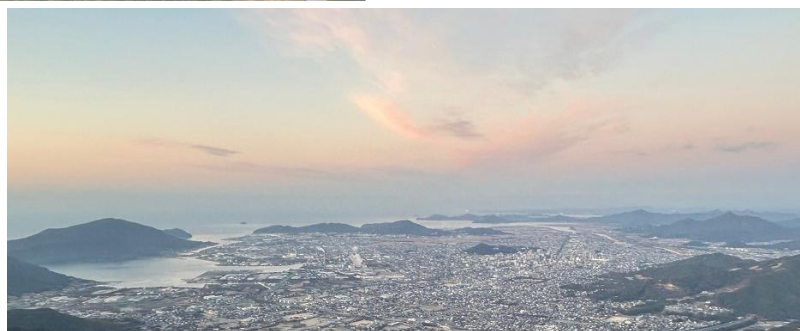
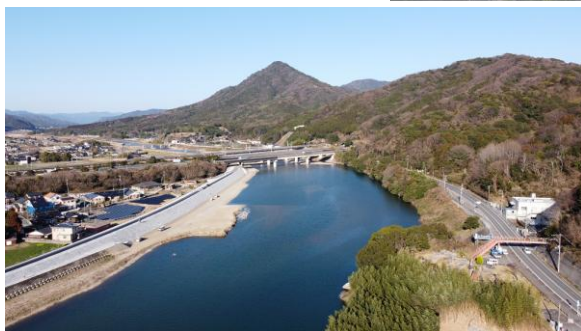


令和8年度 当初予算の概要



防府市土木都市建設部

目次

◇ 当初予算編成の基本的な考え方	1
◇ 予算の状況	2
◇ 主要な事業	
防府・未来へのネットワーク構想	3
国道2号台道拡幅促進事業	4
産業団地アクセス道路整備事業	5
県道防府環状線 西浦交差点改良事業	6
華城小学校周辺道路整備事業	7
牟礼小学校周辺道路整備事業	8
市道側道牟礼二号線外道路改良事業	9
防府北基地東道路整備事業	10
佐波川右岸広域防災広場整備事業	11
公会堂北防災広場整備事業	12
防府第二テクノタウン隣接市道整備事業	13
都市計画道路牟礼中関線整備事業	14
市道天神町協和線修景整備事業	15

通学路等整備事業	16
基地周辺障害対策事業	17
緊急自然災害防止対策事業	18
港湾整備関連事業	19
空家等対策事業	20
公園整備事業（トイレ整備）	21
公園整備事業（大平山山頂公園整備）	22
公営住宅建替等事業	23
公営住宅ストック総合改善事業	24
在宅避難支援設備整備事業	
住宅・建築物耐震化促進事業	25
地籍調査事業	26

当初予算編成の基本的な考え方

第6次防府市総合計画の基本目標である「明るく豊かで健やかな防府」の実現のため、重点プロジェクト『防災ネットワークを支える道路網の構築』をはじめとするまちづくりを着実に進めます。

- ▶ 国・県・市が連携し、防災拠点や県立総合医療センター等をつなぐ道路網「防府・未来へのネットワーク」の構築を進めます。
- ▶ 隣接する県立総合医療センターと一体となった防災・医療の広域拠点として広域防災広場、まちなかの避難場所となる（仮）公会堂北防災広場を整備します。
- ▶ 大雨等による浸水被害の軽減を図るため、河川の浚渫や護岸改修、排水ポンプ場の更新を進めます。
- ▶ メバル公園エリアを適正に管理することで、市民の憩いの場としてエリア全体の持続的な活性化を図ります。
- ▶ 空き家の適正管理や危険空き家の除却を促進するとともに、空き家と狭い道路の一体的な解消を目指す「居住環境再生事業（旧空き家対策防府モデル事業）」を推進します。
- ▶ 子どもが健やかに育ち、誰もが安全・安心して利用できる環境づくりのため、公園施設の長寿命化計画を策定し、公園施設等の計画的な改修や更新を進めます。
- ▶ 安全・安心に暮らすことのできる良質な公営住宅を提供するため、市営住宅の改善や老朽化が進む住宅の建替えを計画的に進めます。
- ▶ 木造住宅の耐震化の促進や危険なブロック塀の除去など、地震や大雨に対する安全性の向上を図ります。
- ▶ 国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について、その所有者・地番・地目を調査するとともに、リモートセンシング（航測法）を活用し、効率的な地籍調査の推進を図ります。

予算の状況

予 算 費 目		令和 8 年度 当初予算 【A】	令和 7 年度 当初予算 【B】	増減額 【A】－【B】	前年度比 【A】／【B】
款) 総務費		82,897	42,794	40,103	194%
	項) 総務管理費	15,919	42,794	▲ 26,875	37%
	項) 統計調査費	66,978	0	66,978	
款) 農林水産業費		0	49,580	▲ 49,580	0%
	項) 農業費	0	49,580	▲ 49,580	0%
款) 土木費		4,742,286	5,123,496	▲ 381,210	93%
	項) 土木管理費	99,506	75,933	23,573	131%
	項) 道路橋りょう費	1,739,534	1,220,342	519,192	143%
	項) 河川費	500,905	526,859	▲ 25,954	95%
	項) 砂防費	25,385	28,850	▲ 3,465	88%
	項) 港湾費	183,301	173,144	10,157	106%
	項) 都市計画費	1,598,937	2,567,415	▲ 968,478	62%
	項) 住宅費	594,718	530,953	63,765	112%
款) 消防費		1,993	1,967	26	101%
	項) 消防費	1,993	1,967	26	101%
款) 災害復旧費		150,000	150,000	0	100%
	項) 土木施設災害復旧費	150,000	150,000	0	100%
土木都市建設部予算		4,977,176	5,367,837	▲ 390,661	93%
一般会計歳出予算（市全体）		58,970,000	59,270,000	▲ 300,000	99%

対前年度比の主な増減理由

統計調査費：地籍調査に係る経費を増額するとともに、機構改革により農業費から総務費統計調査費に移管しています。

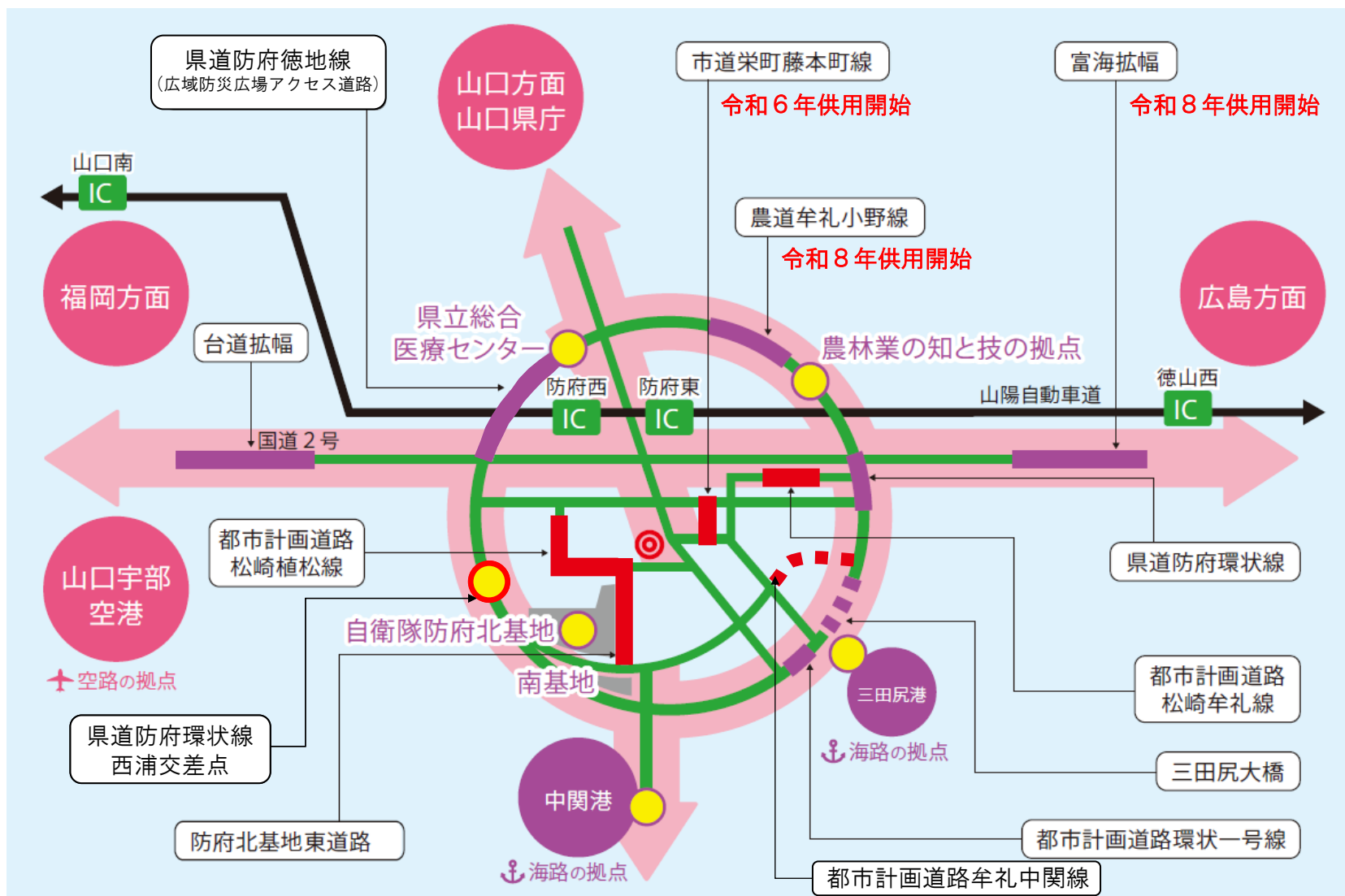
道路橋りょう費：防府北基地東道路及び市道天神町協和線道路修景の整備に係る経費を増額しています。

住宅費：公営住宅等長寿命化計画に基づく、市営住宅の改善及び坂本住宅の建替えに係る経費を増額しています。

都市計画費：佐波川右岸広域防災広場第1期工事の完成に伴い、防災広場整備事業にかかる経費を減額しています。

主要な事業

防府・未来へのネットワーク構想



【継続】 国道2号台道拡幅促進事業 24,200千円

[道路課]

◆国道2号台道拡幅促進事業 420万円

【事業説明】

令和6年度に国道2号台道鑄銭司拡幅が事業化されました。

引き続き、台道鑄銭司間の4車線化及び歩道の設置等の実現に向け、国や県に対し、早期実現とそのための予算確保を強く要望します。



◆国道2号台道拡幅関連事業

【事業説明】

国道2号台道鑄銭司拡幅に伴い、道路利用者の安全な通行を確保するため、側道等の市道の整備を行います。

令和8年度実施内容

- ・ 詳細設計 20,000千円



【新規】産業団地アクセス道路整備事業 49,000千円

[道路課]

【事業説明】

大道産業団地と国道2号との円滑な交通確保のため、産業団地アクセス道路を整備します。

令和8年度実施内容

- ・ 設計及び測量業務



国道2号台道・鑄銭司拡幅事業（国）



【新規】 県道防府環状線 西浦交差点改良事業 30,000千円

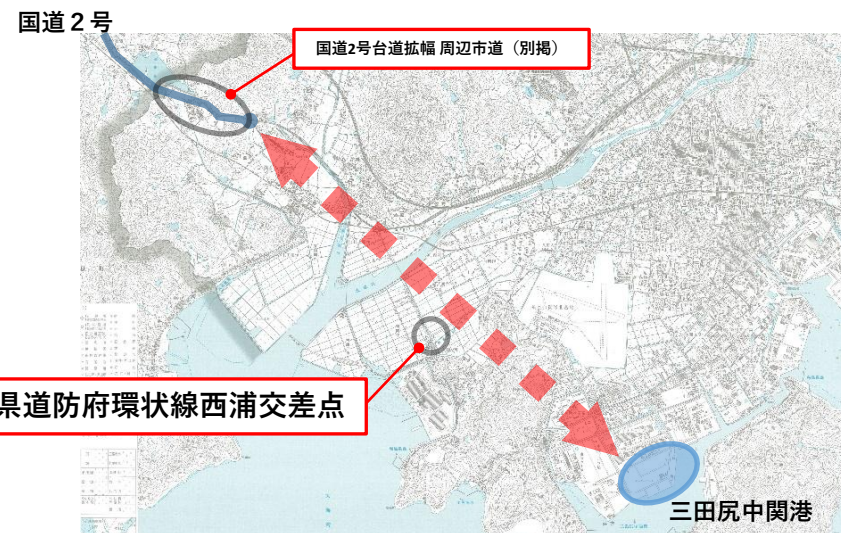
[道路課]

【事業説明】

国道2号と重要港湾三田尻中関港を結ぶ県道防府環状線の西浦交差点における渋滞緩和対策を、県と連携して実施します。

令和8年度実施内容

- ・ 詳細設計（市道部）



【継続】 華城小学校周辺道路整備事業 (都市計画道路松崎植松線、市道小徳田野地線)

194,300千円

[道路課]

【事業説明】

華城小学校の通学路である市道三田尻西浦線は、幅員が狭く、歩道も未整備であることから、バイパスルートとして整備する都市計画道路松崎植松線と市道小徳田野地線に歩道を整備し、通学路の安全を確保します。

令和8年度実施内容

松崎植松線

- ・ 用地補償、道路改良工事

小徳田野地線

- ・ 用地補償、道路改良工事

全体計画

総延長 L=660m

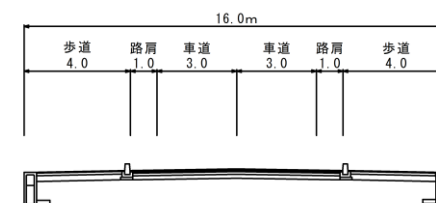
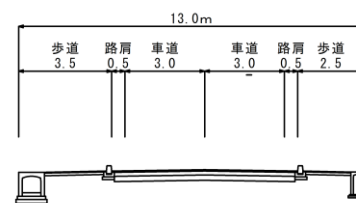
総事業費 10億3,000万円

事業期間 令和3年度～令和11年度（予定）



市道小徳田野地線

(都) 松崎植松線



【継続】牟礼小学校周辺道路整備事業 (都市計画道路松崎牟礼線)

110,300千円

[道路課]

【事業説明】

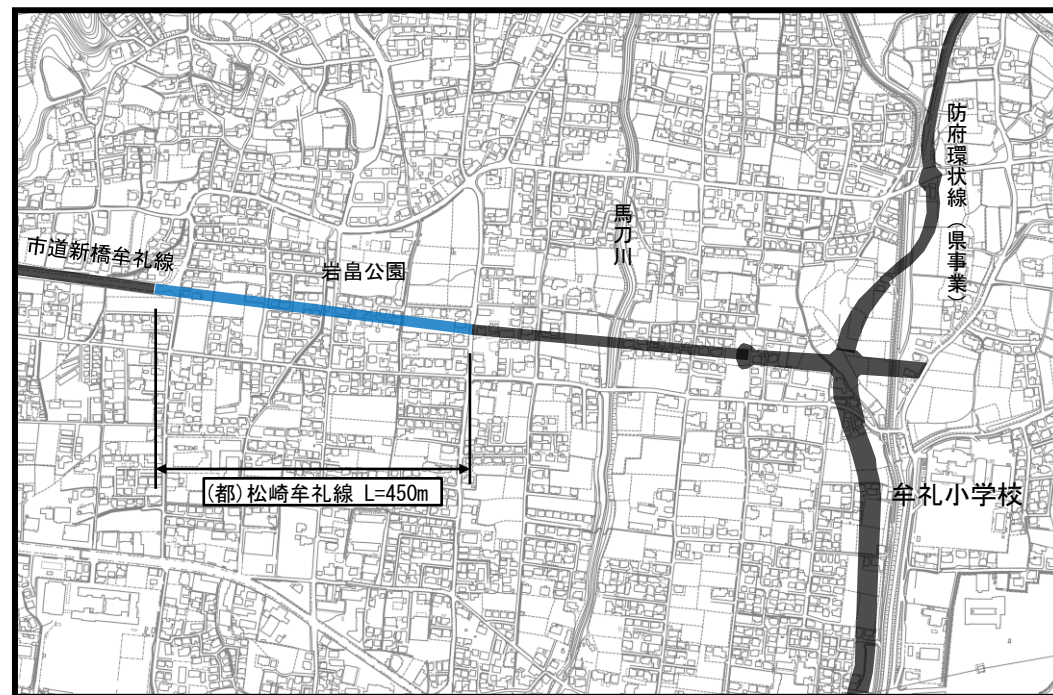
周辺道路の利便性の向上や通学路としての安全を確保するため、都市計画道路松崎牟礼線の整備を行います。

令和8年度実施内容

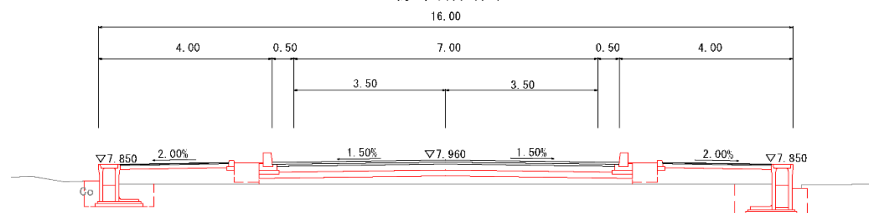
- ・用地補償

全体計画

総延長 L=450m
総事業費 15億3,000万円
事業期間 令和3年度～令和12年度（予定）



標準断面図



【継続】市道側道牟礼二号線外道路改良事業

80,500千円

[道路課]

【事業説明】

山口県が整備を進めている県道防府環状線と国道2号とのアクセス性向上及び通学路の安全確保を図るため、市道側道牟礼二号線の拡幅及び歩道の設置を行います。

令和8年度実施内容

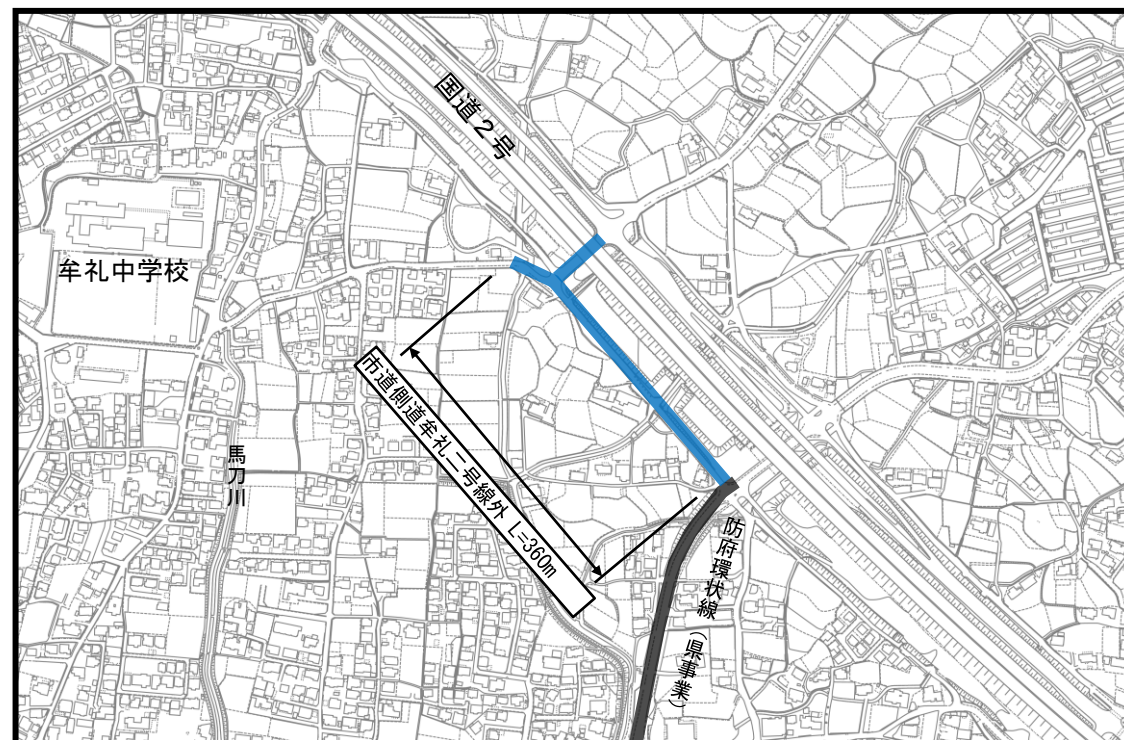
- ・ 橋梁工事
- ・ 道路改良工事

全体計画

総延長 L=360m

総事業費 2億3,000万円

事業期間 令和5年度～令和9年度（予定）



【継続】防府北基地東道路整備事業 (市道新橋中関線)

424,904千円

[道路課]

【事業説明】

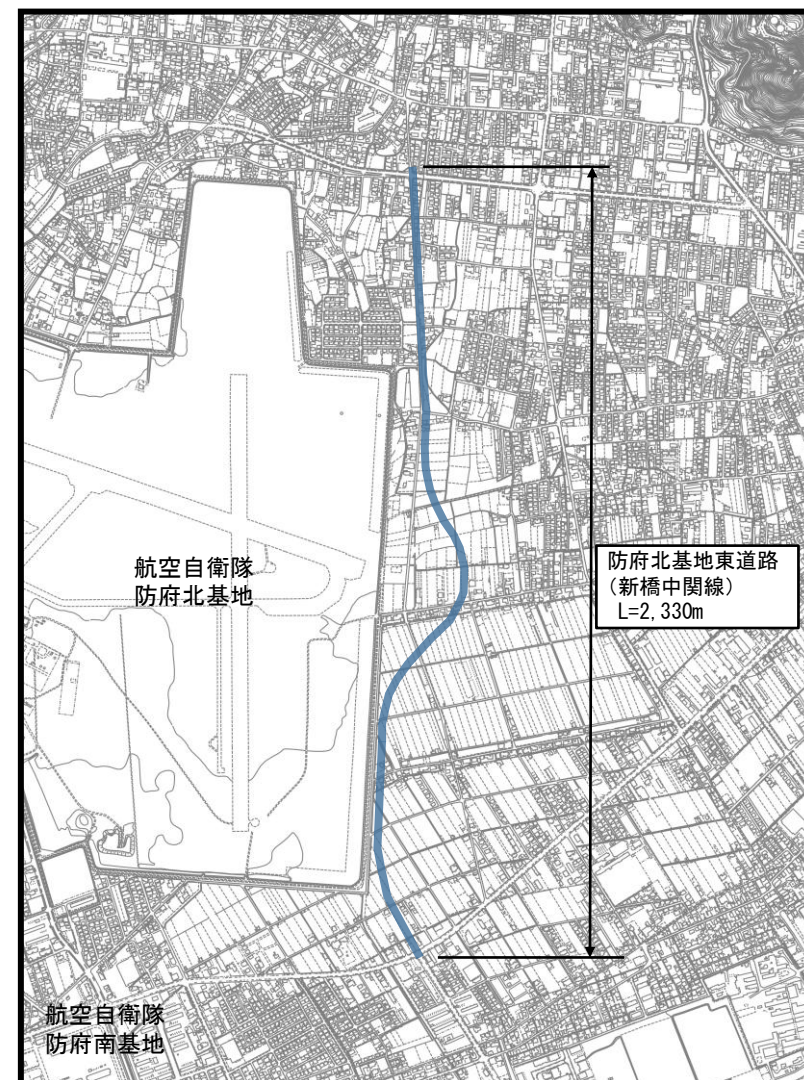
防府北基地の有事や自然災害に対応するため、緊急避難及び緊急輸送を支える幹線道路(緊急輸送道路)を確保し、かつ、臨海工場地への朝夕の通勤渋滞の緩和、歩道の新設による通学路の安全確保を図るため、市道新橋中関線(華城から中関まで)の整備を行います。

令和8年度実施内容

- ・ 用地測量、用地補償、
補償算定業務、道路改良工事

全体計画

総延長 L=2,330m
総事業費 37億7,000万円
事業期間 令和4年度～



【継続】 佐波川右岸広域防災広場整備事業

444,300千円

[道路課]

【事業説明】

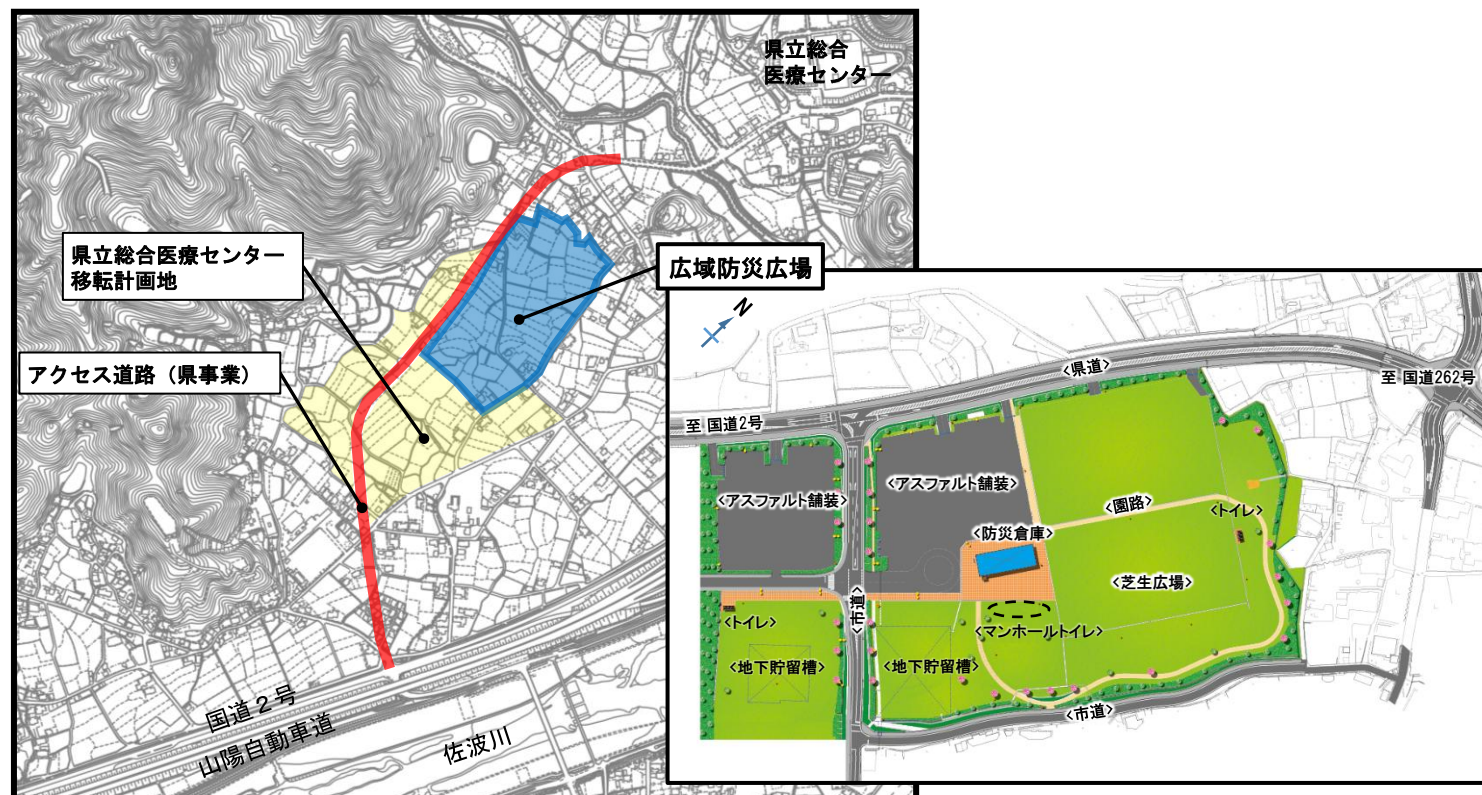
近年頻発する災害から、市民の生命、財産を守る防災対策を、より一層推進するため、佐波川の右岸地域に、県央部の広域的な輸送拠点となり、応急仮設住宅も建設できる大規模な防災広場の整備を行っています。令和8年度も引き続き造成工事を実施します。

令和8年度実施内容

- ・ 広場造成工事
- ・ 用地補償

事業期間

令和3年度
～令和8年度
造成完了（予定）



【継続】 公会堂北防災広場整備事業

368,000千円

[道路課]

【事業説明】

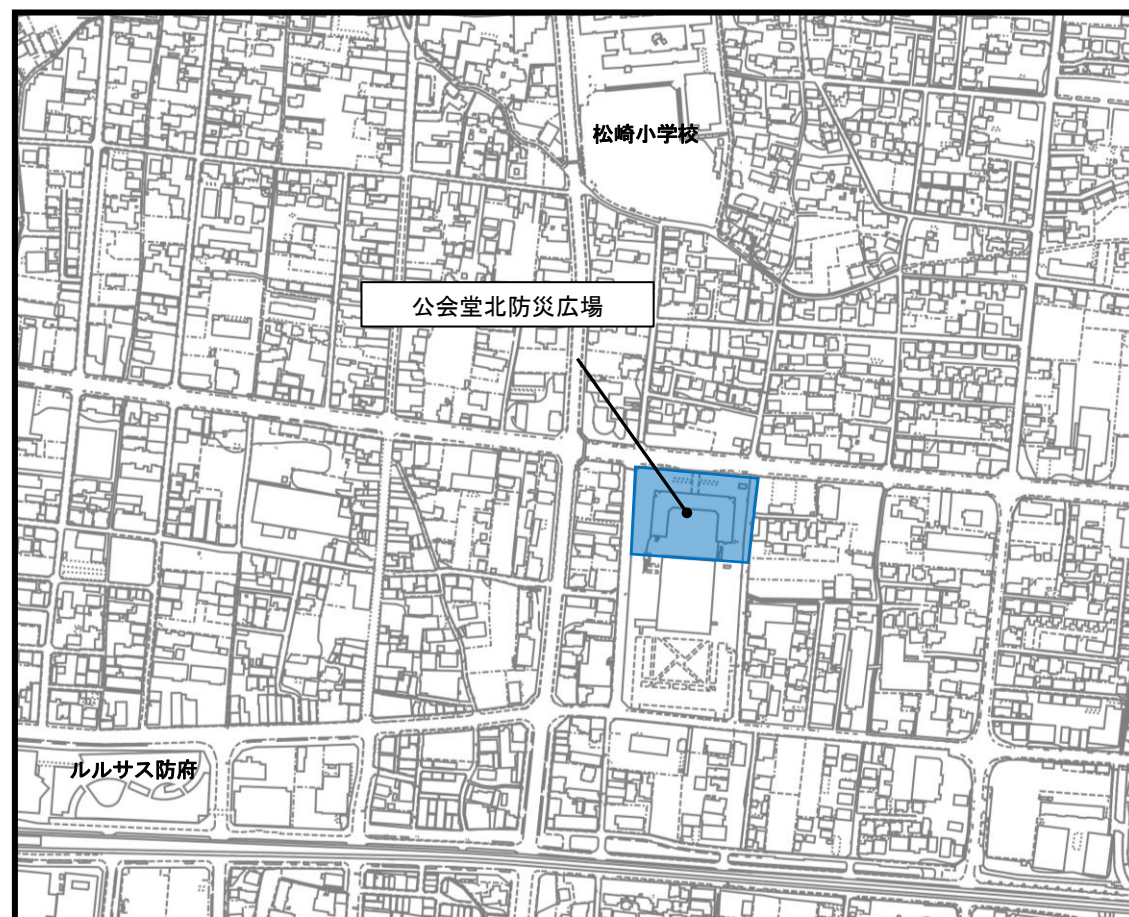
近年頻発する災害から、市民の生命、財産を守る防災対策を、より一層推進するため、
平時は駐車場や賑わいを創出する場として活用する防災広場を文化福社会館解体後の跡地に整備します。

令和8年度実施内容

- ・ 建物工事

事業期間

令和6年度～令和9年度（予定）



【継続】防府第二テクノタウン隣接市道整備事業 (市道四ノ栴三ノ栴線外1路線)

90,900千円

[道路課]

【事業説明】

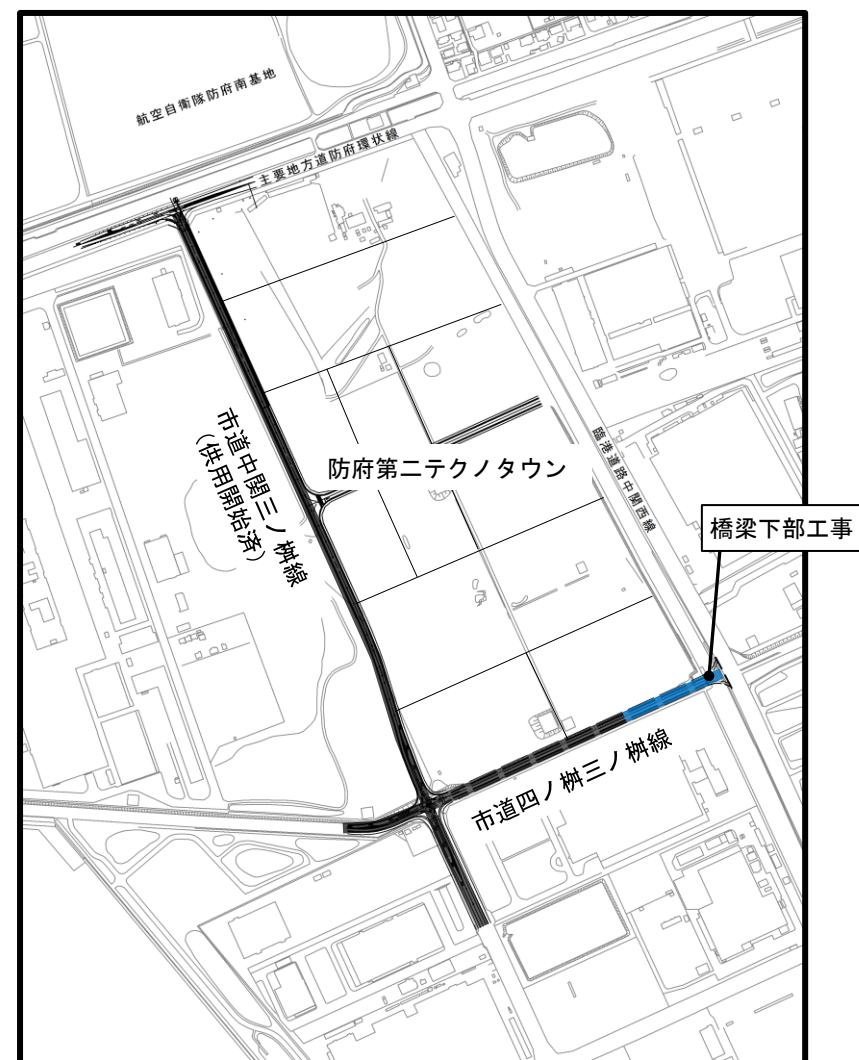
産業団地「防府第二テクノタウン」への企業誘致を円滑に進めるとともに、進出した企業の物流利便性を高めるため、産業道路へのアクセス道路を整備します。

令和8年度実施内容

- ・ 橋梁下部工事（令和4年度
～令和8年度）

事業期間

- ・ 総延長 L=1,070m
- ・ 総事業費 13億円
- ・ 事業期間 平成29年度
～令和11年度（予定）



【新規】都市計画道路牟礼中関線整備事業 5,000千円 (市道牟礼中関線 勝間地区)

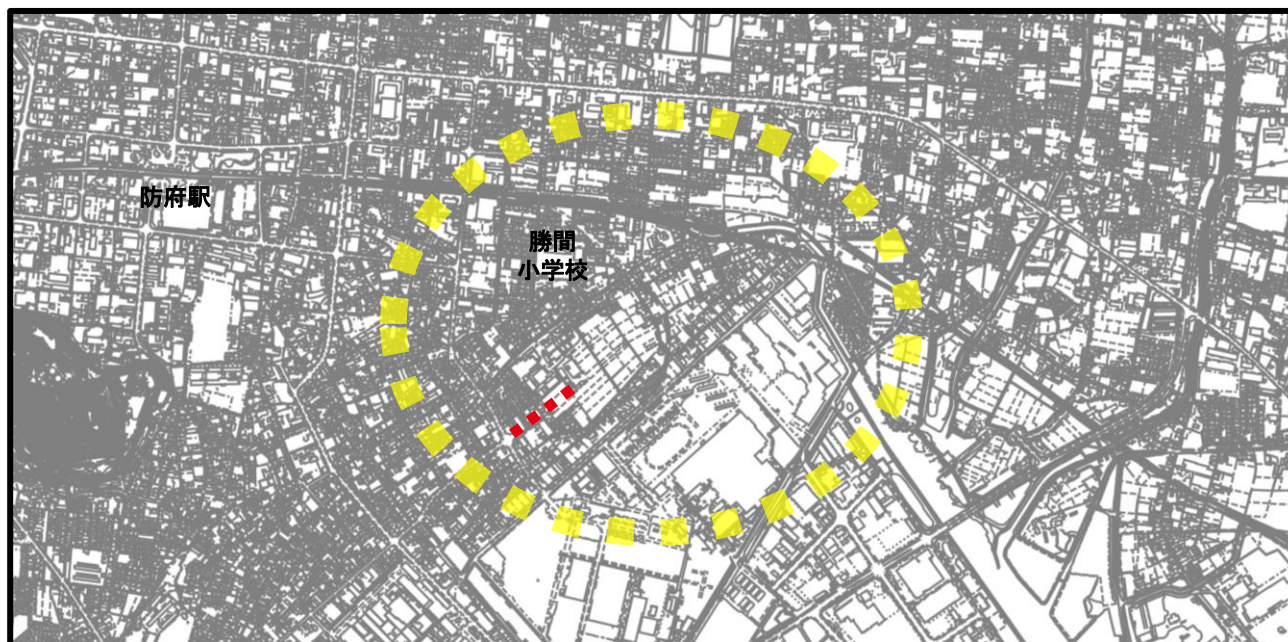
[道路課]

【事業説明】

勝間地区における生活道路の安全対策、渋滞対策のため、市道牟礼中関線を延伸します。

令和8年度実施内容

- ・ 整備に向けての事前調査業務



【継続】市道天神町協和線修景整備事業

150,000千円

[道路課]

【事業説明】

市道天神前協和線について、天満宮までの表参道として、アーケード北側と調和した市道整備（排水施設、修景舗装）を行います。

令和8年度実施内容

- ・アーケード撤去工事

事業期間

- ・事業期間 令和7年度
～令和10年度（予定）



現況



完成イメージ



【事業説明】

こどもの交通安全対策を推進するため、通学路点検等の結果を踏まえて、カラー舗装や路肩の整備を行い、通学路の安全を確保します。

令和8年度実施内容

- ・ 通園、通学路のカラー舗装
- ・ 通学路の路肩整備

通園・通学路のカラー化



通学路の路肩整備



こどもの交通安全対策の推進

横断歩道のカラー化



【継続】 基地周辺障害対策事業

279,077千円

[河川港湾課]

【事業説明】

基地周辺の浸水被害の防止・軽減を図るため、老朽化が著しい幹線水路の改修工事を引続き行うとともに、南蛮樋排水機場の改築に着手します。

○令和8年度実施内容

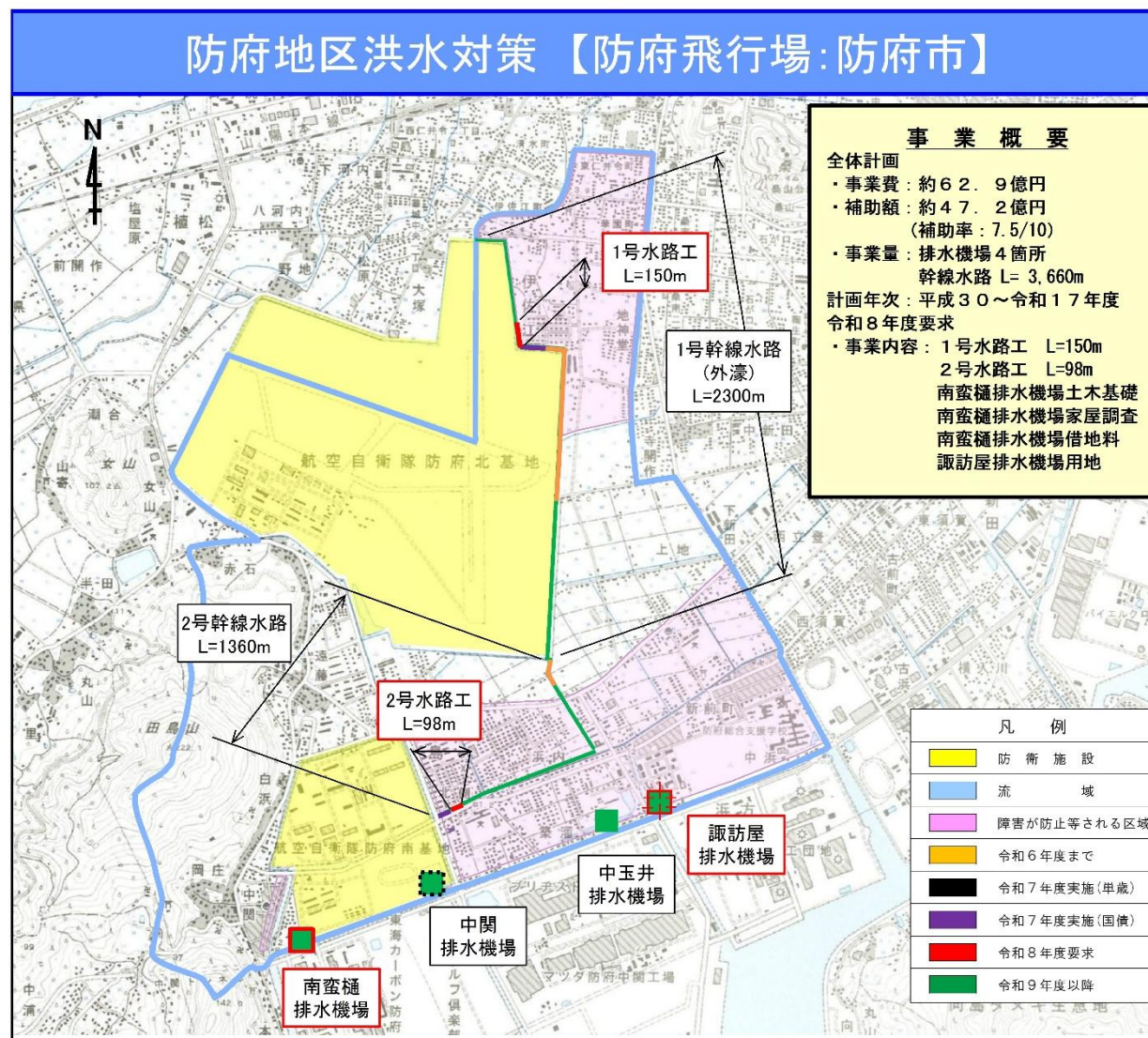
- ・ 1号水路工 L=150m
- ・ 2号水路工 L=98m
- ・ 南蛮樋排水機場基礎工
- ・ 南蛮樋排水機場家屋調査
- ・ 南蛮樋排水機場借地料
- ・ 諏訪屋排水機場用地費

□全体計画

総事業費 62億9,000万円
平成30年度～令和17年度予定
排水機場 4箇所
幹線水路 L=3,660m

排水機場

幹線水路



【継続】緊急自然災害防止対策事業

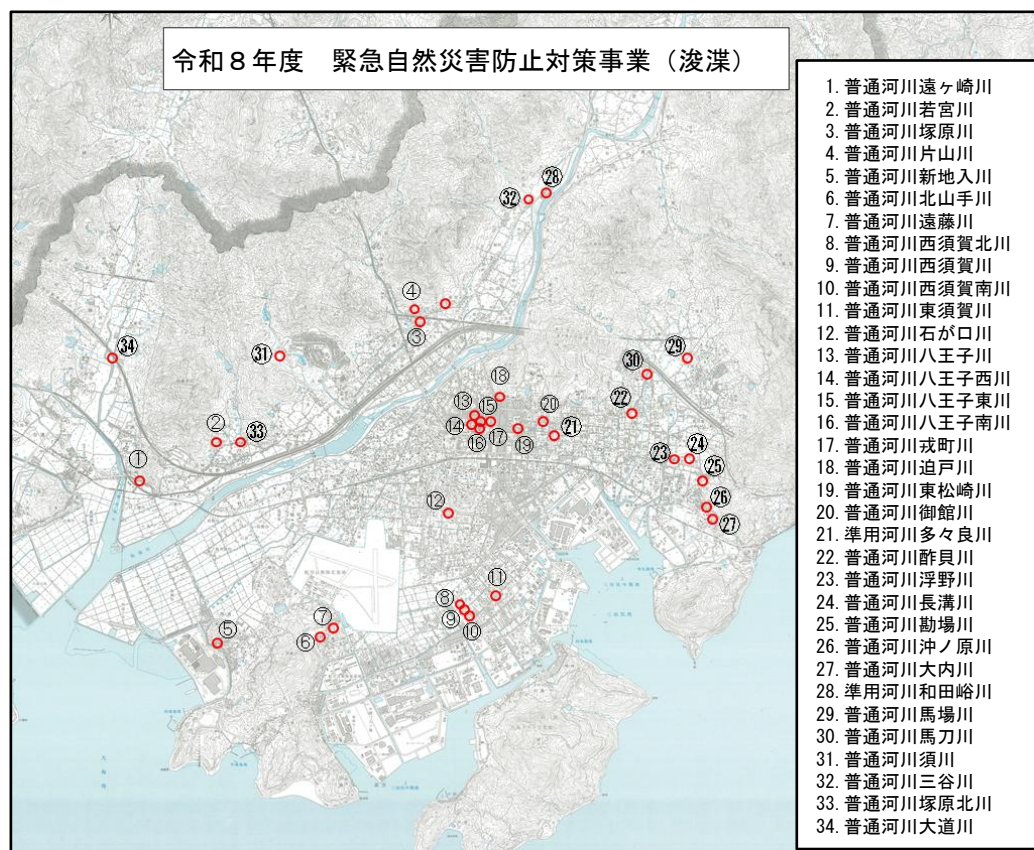
181,600千円

[河川港湾課]

【事業説明】

災害の予防や拡大防止を目的に、河川の維持・改良を行います。

(1) 河川浚渫工事	多々良川外	: 5,000万円
(2) 河川整備、設計、測量委託	八幡谷川外	: 2,860万円
(3) 河川・排水路維持工事	後田川外	: 2,300万円
(4) 河川改良・改修工事	清水川外	: 8,000万円



【事業説明】

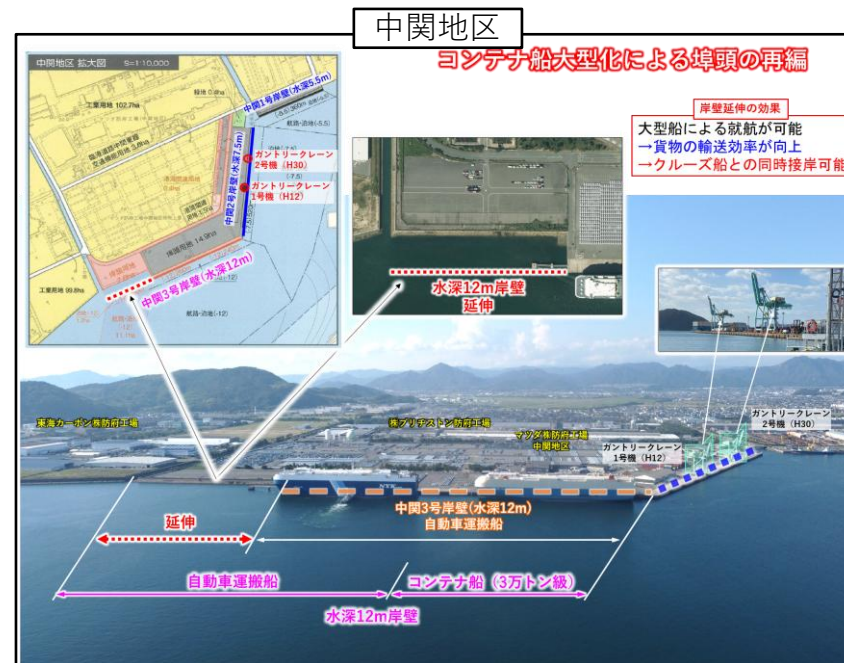
重要港湾三田尻中関港三田尻地区の賑わい創出、中関地区の物流機能の強化を図ります。

(三田尻地区)

メバル公園を適切に管理します。

(中関地区)

中関3号岸壁延伸を実現するため、民間と一体となった港湾の利用促進を図るとともに、国・県に対し、事業化に向けた要望活動を行います。



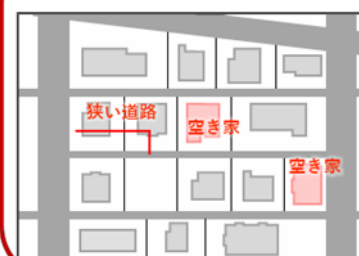
【事業説明】

第3次防府市空家等対策計画に基づき、専門家団体等と連携した空き家無料相談や空き家セミナーの開催、補助制度の実施などにより適正な管理や空き家の利活用、解体の促進を図ります。

また、狭い道路沿いに古い家屋が建て込んだ地域では、土地の有効活用が難しく空き家増加の要因になっていることから、空き家と狭あい道路の一体的な解消を目指す居住環境再生事業を実施します。

居住環境再生事業

空き家を解体すると同時に、狭い道路を解消し居住環境を再生



項 目	内 容
空き家セミナー	○司法書士や建築士等の専門家を講師に、空き家対策をテーマとするセミナーを開催
空き家無料相談	○宅地建物取引士による空き家無料相談を毎月開催
空き家利活用改修費補助事業	○空き家バンク登録物件の購入者、空き家を賃貸向けに改修する所有者【補助率1/2、上限額50万円、6件】
管理不全空家等への対応	○そのまま放置すると特定空家等になる恐れのある管理不全空家等への対応
財産管理制度の活用	○管理者がいない空き家について、財産管理制度を活用した管理人等の選任により売却や適切な管理の推進
危険空き家等解体費補助事業	○危険空き家(不良度100点以上)【補助率1/2、上限額50万円、25件】、離島加算【補助率1/2、上限額50万円、2件】 ○老朽空き家(旧耐震基準以前に建築、不良度50点以上)【補助率1/2、上限額25万円、20件】 ○居住環境再生事業で空き家を解体する場合の費用の補助 ※上記両制度の併用
居住環境再生事業	○空き家と狭あい道路の一体的な解消を行う事業者等に道路工事等の費用の補助【事業認定1件、上限額1,000万円】
空家等対策資材等給付事業	○地域で実施する空き家の危険予防の応急措置や環境保全活動に対して、飛散防止用ネット等の資材を給付

【継続】公園整備事業（トイレ整備）

100,000千円

[都市計画課]

【事業説明】

天神山公園のトイレは、利用者が多く、築50年が経過し老朽化が進んでいるため、バリアフリーに配慮した利用しやすいトイレを整備します。



【継続】公園整備事業（大平山山頂公園整備）

50,000千円(R6～R8)

〔都市計画課〕

【事業説明】

令和6年度から公園の遊具等到大平山や県内の間伐材を利用し、カーボンニュートラルの実現に貢献する施設整備を進めています。

「2050年の森づくりプロジェクト」の一環として、令和6年度には、ツツジをモチーフにした複合遊具やロープウェイ遊具を設置し、令和7年度には、アクティブに遊べる大型複合遊具「チャレンジフォレスト」を設置しました。

令和8年度は、大平山間伐材をふんだんに利用した壁渡りを設置します。今後も、「植える・育てる・伐る・使う」という形で、こどもたちと一緒に成長する公園整備を進めます。



【継続】 公営住宅建替等事業 162,870千円

[建築課]

【事業説明】

市営坂本住宅は、築50年が経過し劣化が著しいため、防府市公営住宅等長寿命化計画に基づき建替計画を実施しており、令和8年度は、1期工事建設予定地の解体及び造成を行います。

令和8年度実施内容（1期）

- ・ 既存建物解体 6棟
- ・ 造成 約4,200㎡

〈1期工事 計画概要〉

- ・ 工期 令和8年度～令和10年度
- ・ 鉄筋コンクリート造3階建て 3棟51戸

〈全体計画〉

- ・ 建設期間：令和8年度～令和15年度
- ・ 棟数： 11棟
- ・ 戸数： 201戸
- ・ 総事業費：87億

〈 竣工イメージ 〉



〈 敷地図 〉



【継続】 公営住宅ストック総合改善事業 251,231千円

[建築課]

【事業説明】

良質な住宅環境を提供するため、防府市公営住宅等長寿命化計画に基づき改修工事を行います。

令和8年度は、防府市公営住宅等長寿命化計画の見直しを行います。

令和8年度実施内容

- ・ 市営西石ケ口住宅 59棟外壁落下防止工事
- ・ 市営新橋町住宅 63棟外壁落下防止工事
- ・ 市営新前町住宅 66棟外壁落下防止工事

＜外壁落下防止工事イメージ＞

着工前



竣工後



【新規】 在宅避難支援設備整備事業 7,000千円

[建築課]

【事業説明】

地震による住宅の倒壊から安全を確保するため、要配慮者が居住する住宅に耐震シェルター及び防災ベッドを設置する費用の一部を助成します。

令和8年度実施内容

- ・ 耐震シェルター：50万円（上限）×10件
- ・ 防災ベッド：20万円（上限）×10件

＜耐震シェルターのイメージ＞



＜防災ベッドのイメージ＞



【継続】 住宅・建築物耐震化促進事業 9,732千円

[建築課]

【事業説明】

地震に対する安全性の向上を図るため、木造住宅の無料耐震診断や耐震改修等の助成を実施するとともに、倒壊の恐れのある危険ブロック塀の除去費用を助成します。

項目	予算額	募集件数	補助率	上限額
木造住宅耐震診断	2,760千円	30戸	(耐震診断員を派遣)	
木造住宅耐震改修補助	3,450千円	3戸	4/5	1,150千円
特定建築物耐震診断補助	1,000千円	1棟	2/3	1,000千円
ブロック塀等耐震除却補助	1,000千円	10件	2/3	100千円
住宅・建築物土砂災害対策改修補助	772千円	1戸	23/100	772千円
建築物アスベスト含有調査補助	750千円	3件	10/10	250千円

【継続】地籍調査事業 66,978千円

[用地管理課]

【事業説明】

国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について、その所有者・地番・地目を調査するとともに、境界や面積の測量を行い、その結果を地図及び簿冊として作成します。

○土地所有者等の負担軽減と安全確保のため、リモートセンシング（航測法）を活用し、効率的な地籍調査の推進を図ります。

一筆地調査 0.57km² (大字奥畑の一部)
面積測定 0.57km² (大字奥畑の一部)

